

- 多摩森林科学園創立80周年記念式典開催される
- 小林環境省自然環境局長が来所
- JICA集団研修「森林研究コース（森林）」研修員の感想文

○多摩森林科学園創立80周年記念式典開催される

多摩森林科学園の創立80周年記念式典並びに記念パーティーが、昨年11月14日午後4時から園内特設会場にて、八王子市長をはじめ多くの来賓・OBを迎えして開催されました。

記念式典では、園長の式辞、理事長の挨拶に続き、八王子市長、森林技術総合研修所長、東京都林業試験場長より祝辞をいただきました。

また、記念誌「多摩森林科学園八十年のあゆみ」を発行し、当園一般公開のシンボルでもある桜（ヤエベニシダレ）のアクリル標本を記念品として作製しました。これまでの80年の歴史を振り返りつつ、これを機に、さらに研究に普及・広報活動に努めていくよう決意いたしました。



○小林環境省自然環境局長が来所

去る11月15日、小林 光環境省自然環境局長が堀上 勝自然環境計画課課長補佐を伴い、当所を視察されました。特別会議室にて理事の研究所概要説明の後、山田文雄室長（野生動物研究領域鳥獣生態研究室）が生物多様性、野生生物保護、被害防除等にかかわる研究成果を説明しました。所幹部との懇談では、環境省からの地球環境保全等試験研究費・環境研究総合推進費にかかわる委託研究について意見交換を行いました。また、研究棟屋上に研究施設の全体説明を行った後、温暖化影響実験棟にご案内し、松本隆介室長（海外研究領域海外森林資源保全研究室）と重永英年主任研究官（立地環境研究領域）が、棟内の実験装置の説明と地球温暖化が樹木成長に及ぼす影響とその変動予測についての研究成果を説明しました。局長からは、当所の自然環境保全、地球環境保全に関する研究の取り組みがよく分かり、森林保全、生物多様性保全、野生生物保全の研究について、今後とも協力をお願いしたいとお話がありました。



○JICA集団研修「森林研究コース（森林）」研修員の感想文

平成13年度の標記研修員5名の方々に、当所の研修の感想文を書いていただきました。（訳：研究協力科海外研修専門官 吉岡章次）

1. Mr. トク・メイ・ウンタルト（インドネシア）

担当:昆虫生態研究室

私は、森林研究の個別研修のJICA研修員になれて大変幸福でした。この研修は、専門講義が大変よく編成され、そして先進的な設備もよく準備されていました。その上、この研修は、私たちを日本のいくつかの興味深い目的地を訪問させることによって森林管理に関する優れた知識を与えて下さいました。

私たちが森林総合研究所において必要なもの全てを使わせていただきましたし、また、その研究設備（図書館、実験室、そして諸設備は、大変素晴らしいと思いました。私たちは、この研修期間中に、研究に役立つ知識と新しい技術を習得させてもらいました。この研究所で働き、いくつかの部分の新しい課題を学ばせていただき本当にうれしく思います。

在日中、森林総合研究所で昆虫研究について学ばせていただきましたが、その他にも日本の文化を少し学びました。私は、日本文化に大変感動を受けました。私は、大変礼儀正しく、動触しに満ちている日本文化に大変興味を持ちました。

最後に、日本の社会的安全性についてですが、それは、大変安全と感じました、世界で最も安全な所であると私は思います。

2. Ms. キレラ・ローズ・マケナ（ケニア）

担当:物質生産研究室

○研修プログラムと調整

全ての活動は、研修計画に従って完全に実施されました。

この諸行事の調整は、二人のコーディネーター、吉岡さんと栗田さんは、このプログラムを技術的、事務的、研修旅行、そしてその他の諸々の事務を計画通りに円滑に進行させるように疲れを知らないほどの働きをして下さいました。

○研究室

私の研修指導員の千葉幸弘博士と彼のチームの研究者の皆様は、私が働きやすい環境を大変早く作って下さるなど大変温かく迎えて下さいました。

職員の皆様は、技術的な問題が起った時は、相談に応じて下さり、助けを求めた時は、すぐに好意的に助けて下さいました。私の研究業務のためたくさんの支援、例えば、コンピューター、プリンター、テキストブック等を自由に使用させて下さる等の支援もありました。

○海外研修室

研修室は、個別研修や集団討議のために使用する必要な設備がよく準備されていました。

○研修内容

実務面では、現地におけるデータ収集に用いる様々な精密機器の使用方を習いながら研修させるようになっています。理論面では、さらに私は、森林問題に関する知識、特に、私の行っている研究のための知識を押し上げることができました。この研修目標は私の目標全てに合致していました。

○一般的意見

科学の知識は、富であり、時間と共に進み続けるものです。将来において研修員が、彼らの国々からの彼らの考え方や科学的経験を共有するために、日本の科学者、そして研修員自身がより多くの触れ合う時間を持つことができるように、この研修コースにもっと多くの時間が必要と思います。

○謝辞

皆様方一人一人に申し上げることができませんが、私の研修計画の成功のためにいろいろなことで直接、間接的に貢献してくださった皆様と、我が家から離れた日本を、我が家のようにして下さいた人々に心から感謝いたします。

3. Mr. クロ・ブルーノ（バファ・ニューギニア）

担当:植生管理研究室

全体的にこの研修は全ての角度から見てよく編成されていました。

二人のコーディネーター、吉岡さんと栗田さんは、大変協力的でしたし、全ての運営業務、研修旅行から始まり、求められた他の関係する技術的事項までを大変有能に編成し運営して下さいました。

五人の研修員の研修にかかわった森林総合研究所の事務部門の方からその他の全ての部門の方々も大変協力的でした。T B I Cから森林総合研究所までの交通手段そしてそれらの配置も大変便利でした。

私の研修計画は全ての角度から見て大変よく組み立てられていました。そして、大部分の私の目標をカバーしていました。わずか3か月間に全ての研究室の皆様は、私の研修の全ての課題と目標を一致させる方法でうまくプログラムを編成されていました。研修プログラムは講義とそれに野外実習とで、バランスの保たれたものでした。それは、私が自分の国で実施中の仕事の種類に直接関係のあるものでした。これは私のコースの最もうれしい部分でした。私の研究分野に関連する多くの他の重要な地域へ行かせていただいたこと、そして、実り多い討議は、これから先、私の課題から離れた知識の視野を広げることにつながりました。

研究室の皆様も、コンピューターの用意、複写機、デジタルカメラの使用、野外作業着そしてその他機器類を含めて、多くの援助を与えて下さいました。

コースの内容に関しては、私は関係のある研究テクニックがより役立ちました。この研修コースは私が知っていた研究手法だけではなく、私が知らなかった研究手法に関する経験を手に入れる機会を与えて下さいました。フィールドにおけるあるパラメーターを測定する大変精密な機器の使用、そしてその後の複雑なデータ分析は、私に大きな満足感を与えました。しかし、私はデータ分析、結果の理解と解釈にもっと多くの時間を使えばもっとよかったと思います。データ分析構成要素は、私の研究領域におけるある範囲にのみ用いられるものであったからです。他の機器、例えば、コンピューターに直接ダウンロードされることができ、データを加工するためにアクセスできるようなデータ収録装置に興味を持ちました。

最後に、私は私たちをお手伝いして下さいました皆様とコーディネーターの方々の高い能力レベルに感銘を受けました。あなた方の努力は忘れません。

大変感謝しています。さようなら。

（右上へ）

4. Ms. プーシン・ケタニン（タイ）

担当:群落動態研究室

全体的にこの研修は全ての角度から見てよく編成されていました。

二人のコーディネーター、吉岡さんと栗田さんは、大変協力的でしたし、全ての運営業務、研修旅行から始まり、その他の技術的支援までを大変有能に編成し運営して下さいました。事務部門からその他全ての部門までの森林総合研究所の皆様も、大変協力的でした。

私の研修計画はよく組み立てられていました、そして、全ての私の目標をカバーしていました。わずか3か月以下の間に森林総合研究所の皆様は、私の研修に全ての課題と目標を一致させる方法でうまくプログラムを編成して下さいました。研修プログラムは講義、実習とそれに野外実習とのバランスの保たれたものでした。私の研究分野のために重要ないくつかの地域へ訪問させて下さいました。

研究室の皆様も、テキストブック、技術的資料、野外機器等のご支援を提供して下さいました。

森林総合研究所の群落動態研究室で働かせていただきましたことは、素晴らしい経験となりました。私は、森林生態研究に関する理論的手法と実地調査テクニックの両方を含むいくつかの技能を習得しました。この研修を通して得ることのできた経験は私の仕事に大変役立つものでした。

5. Mr. ユッタボン・キーリーマンクラ（タイ）

担当:水資源利用チーム

森林研究コースは、全体的に、全ての角度から見てよく編成されていました。

このプログラムは大変よく組み立てられていましたし、私の目標以上のものがカバーされていました。研修期間中、JICA、JICE、森林総合研究所の皆様は、この研修を私の目標に一致させる方法でうまく研修プログラムを編成して下さいました。この研修は役に立ちましたし、細かい部分にも効果的なものが多くありました。

私たち、のコーディネーター、吉岡さんと栗田さんは、大変協力的でしたし、全ての運営業務、オリエンテーションから始まり、カントリーレポート発表会、研修旅行、その他の技術的援助に至るまで大変有能に編成し運営して下さいました。

森林総合研究所の皆様もまた大変協力的、友好的でした。私たちに与えられた全ての設備は素晴らしいものでした。さらに、研修旅行で私たちが訪れた場所の皆様方も、親切で協力的に森林研究分野に役立つ項目をはっきりと私たちに教えて下さいました。

私の配属された研究室、水資源利用チーム、水保全、山地災害研究室等の皆様、清水さん、藤枝さん、坪山さん、阿部さん、壁谷さん、久保田さん、阿部（和）さんその他の方々は大変協力的で、多くの役に立つ支援、例えば、研究室の機器の使用、専門別研修の野外調査の運営、研究計画の準備等、を親切に提供して下さいました。研究室の皆様は、私の研修コースがうまく進行するように大変協力的かつ助けになって下さいました。

私に日本における森林研究の先進的科学技術を研修できる機会を与えて下さったJICAに感謝します。さらに、私の研修コースを短い期間にもかかわらず効果的に協力下さいました皆様に感謝します。私たちがすべてに思い出に残るそして幸福な生活をさせるための仕事をされている皆様のプロ意識に感謝します。

最後に、この研修コースは私に森林研究における科学的テクニック、特に、水資源利用と森林水文学に係る私の知識と技能の向上、経験を手にする機会を与えて下さいました。さらに、これら为基础に、私は、近い将来、確実にこの科学、研究、知識、技術を向上させているでしょう。